

民主島根

2017年
11.26
第1300号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国ブロックでいっせい宣伝行動

住民の声届ける 大平喜信 前衆院議員 議席復活へ

後藤県委員長、尾村県議ら先頭に各地で

中国地方の日本共産党は10日、定例のいっせい宣伝に取り組みました。

島根では、県委員会と東部地区委員会が合同で宣伝し、「市民と野党の闘いを堅持し、憲法9条を守るたまたかに今後も全力を尽くす」と訴えました。

後藤勝彦県委員長は「憲法9条を守れ」との声が国民の大多数です。安倍改憲ノ1の声を大きく広げよう」と3千万署名を呼びかけました。

岩田剛地区委員長は、衆院島根1区では立憲民主党の亀井亜紀子氏（比例復活）を国会に送ろうと市民と野党が共闘できたとし、「これからも安倍

改憲ストップのために力を合わせます」と訴え。車内から手を振る人などがいました。

通りがかった女性（60）は「共産党は公約を

松江 アベ9条改憲NO！ 「9の日宣伝」で3千万署名呼びかけ

憲法9条県民運動実行委員会は9日、JR松江駅前で行った、安倍政権



「安倍改憲ストップのために力を合わせましょう」と呼びかける尾村県議（左から3人目＝松江市）

果たすために一生懸命にやっておられますね」と話しました。

中部地区、西部地区も議員を先頭に宣伝しました。

下の9条改憲に反対する3000万署名に取り組みました。（写真）5団体から7人が参加し、「安倍政権は9条を改悪しようとしています。力を合わせて安倍改憲ノ1の意思を示しましょう」と呼びかけました。

個人的に9条を守る活動をしているという男性（70）は署名に応じ、「9条を含む日本国憲法がどんなに素晴らしいかを伝えるために、私も頑張ります」と語りました。署名した女性（92）は「一度きりの人生なの



次の国政選挙、地方選挙勝利へ 党県委 全県議員団会議ひらく

日本共産党県委員会は17日、大田市で全県議員団会議を開きました。

17名の議員のほか、機関役員ら計26名が出席し、党活動や議会活動

を交流しました。（写真）後藤勝彦県委員長が総選挙結果と今後の党活動について報告し、「改憲発議阻止のたたかいを広げ、党支部とともに『憲法9条改憲NO！3千万署名』を持って大いにう

戦争体験を語り継ぐ集い
12月9日(土) 13:30~15:30
 松江市厚生センター・1階多目的室
 演題「伝えよう 戦争の悲惨さを」
 お話し：毛利悦子さん(木次町)
 問い合わせ：松江保健生協まちづくり委員会
 Tel.0852-27-3774(担当：江角)



福祉保育労組島根支部 保育・介護制度の現状学ぶ 尾村・大國県議が講師つとめる

し、保育士、介護職員の要望や思いを聞き取りました。（写真）尾村県議は、サービ

鼓動

朝のドラマ「わろてんか」は、寄席「風鳥亭」を舞台にいよいよ佳境へと入る。明治から昭和にかけての大阪で、笑いを愛し、ときには笑いに救われて生きる主人公・藤吉は、自分たちの寄席をめざして二人で生きていくことを決意する。波乱万丈の人生をどのように笑いで紡いでいくのか、今後の展開が楽しみだ。笑いと緊張の緩和である。上方落語に新風を吹き込んだ故・桂枝雀の名言だ。「わろてんか」を演出する製作陣も「笑いは苦しさや悲しさから逃れようとする人間が獲得した生きるための技術」と言い切る。笑いは、人間だけに与えられた特権であると同時に、人は笑いぬきでは生きられないのだ。先日、高校の同窓会が開かれ参加した。受付で、48年ぶりに出会った女性（66）が「あつ、〇〇君でしょう」と、当時とは全く風貌の異なる我が名前を言い当てた。「どうしてわかった」と聞くと、「その眼差しよ。教室でおもしろいことを言ってみんなを笑わせていたその目は変わらないわ」と。「そんなことあったっけ？」他人を笑わせるという事は自分も幸せになれる。周りを笑わせていたことで自分を覚えてくれる人がいたとは。幕末に新しい日本をめざした坂本龍馬は「みんなが笑っている世の中をつくりたい」と。笑いは人生の付け足しではない。政治がめざすべき究極の目標が笑いのあふれる社会ではないだろうか。（吉）